

## 1-イスラームでは

この宇宙にその創造主が存在し、それが誰もその偉大さや力などにおいてかれに組する者がいないところの唯一の存在、アッラーであるということを知る。かれは天高くから、その創造物の一挙一動を観察されている。かれこそは崇拜に値し、かれ以外のものを崇めることは放棄される。アッラーは人類をただ戯れに創造されたのではなく、かれを崇拜するためにこそ創造されたからである。かれは審判の日人々を復活させ、彼らの現世での行いを裁かれる。

## 2-イスラームでは

人類とは異なる不可視の存在である天使がいることを信じる。アッラーはかれらを光から創造され、かれらに各々の役割を担わされた。そのうちの1人がガブリエルであり、アッラーはかれに命じて預言者たちに啓示を伝達させた。

## 3-イスラームでは

アッラーがその預言者たちに啓典を下されたことを信じる。啓典にはモーゼに下された律法やイエスに下された福音、ダヴィデに下された詩篇などがあるが、ムハンマドに下された「クルアーン」がその最終版である。これらの啓典は全てアッラーのみを崇拜することを命じていたが、時間の経過や人々の利を貪る宗教の敵の存在などの理由で、クルアーンを除いて全て改変されてしまった。アッラーが人類への奇跡とされたクルアーンだけは人々の胸の中に保存され、かれの保護のもと紛失や改変から免れたのである。アッラーはこのようにして、クルアーンを先の全ての啓典の決定版とした。その中には現代の科学者たちが証言する、科学的奇跡なども満載されている。



## 4-イスラームでは

アッラーが人類の祖アダムを土塊から創られたこと、そして試練にかけられるがためにその子孫を受けられたことを信じる。人類は時代の変遷とともに迷妄の道に迷い込み、悪魔が彼らを罠にかけ、アッラーを差し置いて偶像を崇め祀る

ようになりさがった。そこでアッラーは人類に預言者を遣わし、アッラーのみを崇拜し、それ以外のものへの崇拜を放棄すること、そして預言者に従う旨を命じるメッセージを伝えさせた。その預言者たちの中にはノア、アブラハム、モーゼ、イエスなどがいるが、最終の者がムハンマドであり、彼が預言者たちの封緘である。イスラーム教徒はこれら全ての預言者を信じ、愛するようになるまでは正しい信仰を持ったとは言えない。

## 5-イスラームでは

この世で起こる全ての事象が、アッラーが既に定められたことであることを信じる。しかしその一方、人間はある行為を達成する前にその達成要素を満たすことが求められてもいる。彼自身が自らの監督であり、現世と来世において自らが成すことへの責任者なのである。それゆえ努力もせず運命に言いがかりをつけることは許されない。運命に対するこのような考えによって、リララクした人生を送ることが可能になる。

## 6-イスラームでは

公正と善行、良い人間関係、慎ましさ、正直さなど全ての好ましい徳性と性質を実践するよう命じ、不正、姦淫、盗み、人の権利侵害、無実な人の命を奪うこと、嘘、奢り高ぶることなど全ての厭われるべき性格や行いなどを禁じている。ある種のムスリムたちの中に見出される落ち度は彼ら自身に帰されるのであり、イスラームそのものに帰されるのではない。



## 7-イスラームでは

人間をその肌の色や貧富の差、アラブ人であるか非アラブ人であるかといった理由で差別したりしない。アッラーのもとで最も尊い者は、かれを最もよく畏れる者なのである



## 8-イスラームでは

恒常的に悔悟することを命じる。過ちを犯せば悔悟して再び同じ罪を犯すことから遠ざかり、かつアッラーに許しを請い、そして神のしもべとしての義務を果たす者はその罪を許される。そしてアッラーとそのしもべの悔悛の間を阻む仲介者はいない。悔悛は彼とアッラーの間のことであり、アッラーこそが彼を見、聴き、そして彼の内心のことを知るのであるから。

## 9-イスラームでは

清潔さを命じる。そして害悪を除去し、人を害する汚物などをあらゆる場所から取り除けることを命じている。

## 10-イスラームでは

女性の尊重を命じる。そして遺産相続や生活扶養などの権利を充足させ、善行をもって接することを命じている。

## 11-イスラームでは

主の道に背かない限りにおいて、人の生活を便利にするあらゆる時代の先進機器や技術などを活用することを勧めている。



## 12-イスラームでは

定められていることは明白かつ簡素である。全ての崇拜行為にはイスラーム教徒が踏襲するところのイスラーム法典拠が存在する。これらのことは人間が定めたのではなく、主が定めたものなのである。それゆえ人間はそれを遵守しなくてはならない。

## 13-イスラームでは

人々の生命や財産などにおける平安のために犯罪と戦い、犯罪者を懲罰する。イスラームは、人間にとって必要不可欠な5つの要素を保護する。それらつまり：理性・生命・子孫・財産・宗教である。



## 14-イスラームでは

アッラーのために毎日特定の時間、アッラーが定められた手法に則って5度の礼拝をすることを命じている。このことはアッラーをそのしもべと結びつけるためである(、ページ参照)。



## 15-イスラームでは

ある一定の額の財産を所有するイスラーム教徒に対し、毎年そこから一定の割合を困窮者などに分配するべく拠出することを命じている。それは「ザカート」と呼ばれ、財産の浄化とその更なる増加、及び貧者への慈悲の念などと見なされる。



## 16-イスラームでは

1年に1ヶ月間の齋戒を命じている。この間イスラーム教徒は、日の出少し前から日没まで飲食や性行為などを断つ。これはラマダーン月と呼ばれるもので、アッラーが信者に貧しい人々の境遇を思い起こさせ、彼らの健康を維持し、そしてかれの命に服従するかどうかを試すために義務付けられた

## 17-イスラームでは

それが出来る者に対して巡礼(ハッジ)を命じている。それは年の中のある特定の時期にマッカを訪れ、特定の儀式を行うことである。これはアブラハムやムハンマドなどの預言者たちが行っていた宗教儀礼の踏襲である。



## 18-イスラームでは

預言者ムハンマドが全人類に遣わされたということを知る。そして法規定の分野を除いては、彼のメッセージはそれ以前の預言者たちのメッセージと同じであることを信じる。そのメッセージを知らされた者には、信仰する義務が生じる。アッラーはイスラーム以外を宗教としては受け入れない。

## 19-イスラームでは

アッラーをムハンマドの行ったやり方で崇拜する。その手法はアルブハーリー、ムスリムといったハディース(ムハンマドの言行及び承認の伝承記録)学者たちが伝える真正の伝承に基いている。それゆえ本来の教えや理性と矛盾するような、後世の人々が考案した宗教改変、迷信的な考えや行いなどには従ってはならないとされる。

## 20-イスラームでは

理性を、迷信やアッラー以外を崇拜することから解放する教えである。それゆえ死という事実を思い起こすために墓場を訪れることを勧める一方、墓の周りを崇拜の意味を込めて周回したり、そこで犠牲を屠ったり、死体に向かって願い事をしたり、死人にアッラーへの仲介を求めたりすることを禁じる。



## 21-イスラームでは

アッラーに依拠し、かつ目的達成のための必要なステップを踏んでいくことを命じている。そしてまじないや魔術、占いなどによって他人の財を貪る人たちのもとに赴くことを禁じている。



## 22-イスラームでは

2つの祭日がある。それはイード・アルフィトゥル(齋戒節明けの祭り)とイード・アルアドハー(巡礼節明けの犠牲祭)の2つである。その他人々が考案した現存する祭りの数々は、イスラームとは根本的に関連はない。

## 23-イスラームでは

信者が体の清め、礼拝、喜捨、齋戒、巡礼、諸取引などのイスラーム法規定を学ぶことを命じている。イスラームの教えに満足する者がいたら、彼はただ「アシュハド・アッラー・イラーハ・イッラッラー(アッラーの他に崇拜すべきものはない)、ワ・アシュハド・アンナ・ムハンマダッラスールッラー(ムハンマドはアッラーの使徒である)」という証言を声に出して言うだけである。このようにして人はイスラーム教徒となり、彼はこの証言の意味するところに沿った生涯を送らなければならない。そうすれば彼は天国を約束され、地獄から逃れることが出来るだろう。

## 24-イスラームでは

新しく改宗した時や性交を行った後、女性の生理や悪露があがった時などには、沐浴することを命じている。



## 25-イスラームでは

信者が礼拝をする前に、以下に示すようなやり方で体を清めること(ウドゥー)を命じている。

1- 手首を含めた両手を1回、あるいは2回、3回洗う。



2- うがい、及び鼻の中に水を入れては噴き出す行為を1回、あるいは2回、3回行う。



3- 顔面部を1回、あるいは2回、3回洗う。



4- 右前腕部、左前腕部の順で手先から肘部分までを1回、あるいは2回、3回洗う。



5- 水で濡らした両手で頭部、及び両耳を撫でる。



6- 右足首のくるぶしから下、次いで右足首のくるぶしから下全部を1回、あるいは2回、3回洗う。



**イスラームでは**

信者に以下に示すようなやり方で礼拝することを命じている。

1. キブラ（カアバ神殿のあるマッカの方向）に向かって立ち、両手を耳の高さ位まで上げ、「アッラーホ・アクバル

（アッラーは偉大なり）」と言う。

そして左手を下にして手を組み、それを胸の上に置く。それから以下に示すクルアーンの「ファーティハ章

（開端章）」を読む。「慈悲深く慈悲あまねきアッラーの御名において

全宇宙の主アッラーにこそ全ての賞賛あれ。かれは慈悲深く

慈悲あまねきお方。審判の日の王。我々はあなたをこそ崇め、あなたにこそ援助を求めます。我々を正しい道にお導きください。あなたがお怒りを下した者たちや迷妄の中にある者たちの道ではなく、あなたが恩恵を垂れたもうた者たちの道に。

アーミン。”

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ  
سُبْحَانَكَ اللَّهُمَّ وَبِحَمْدِكَ وَتَبَارَكَ اسْمُكَ وَتَعَالَى جَدُّكَ وَلَا إِلَهَ غَيْرُكَ  
أَعُوذُ بِاللَّهِ مِنَ الشَّيْطَانِ الرَّجِيمِ (الحمد لله رب العالمين. الرحمن الرحيم. مالك يوم الدين  
إياك نعبد وإياك نستعين. إهدنا الصراط المستقيم. صراط الذين أنعمت عليهم غير المغضوب عليهم ولا الضالين. آمين)

その後にクルアーンの別の任意の箇所から読む。

例えば「イフラス章（純正章）」だったら：

“慈悲深く慈悲あまねきアッラーの御名において

言え。かれはアッラー、唯一なるお方。永遠なるお方。生みもしなければ生まれもしせず、かれに匹敵する何ものもない。”

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

(قل هو الله أحد. الله الصمد. لم يلد. ولم يولد. ولم يكن له كفواً أحد.)

6

2.それから「アッラーホ・アクバル（アッラーは偉大なり）」と言って上半身を前方に屈め、「スプハーナ・ラッビヤルアズィーム（偉大なる我が主に賞賛あれ）」と声に出さずに唱える。何回も繰り返し言う方が、良いとされる。

3.それから「サミアッラーホ・リマン・ハミダフ（アッラーはかれを讃える者を聞き入れたもう。））」と言いながら、上半身を元の状態に戻す。そして起立状態に戻ったら、「ラッパナー・ワ・ラカルハムド（我らが主よ、あなたにこそ賞賛あれ。）」と言う。

4. それから「アッラーホ・アクバル（アッラーは偉大なり）」と言って、起立状態から跪拝に移る。完全に跪拝姿勢になったら、「スプハーナ・ラッビヤルアアラー（至高なる我が主に賞賛あれ）」と声に出さずに唱える。何回も繰り返し言う方が、良いとされる。

5.それから「アッラーホ・アクバル（アッラーは偉大なり）」と言って、跪拝状態から体を起こして座位状態に移る。そして座った状態のまま声に出さずに「ラッビグフィルリー（我が主よ、私をお許し下さい。）」と唱える。何回も繰り返し言う方が、良いとされる。

6- それからまた「アッラーホ・アクバル（アッラーは偉大なり）」と言って、座位状態から再び跪拝する。完全に跪拝姿勢になったら、「スプハーナ・ラッビヤルアアラー（至高なる我が主に賞賛あれ）」と声に出さずに唱える。何回も繰り返し言う方が、良いとされる。

7- それから「アッラーホ・アクバル（アッラーは偉大なり）」と言いながら、立ち上がる。そして起立状態に戻ったら、礼拝の第2セットに移る。再び①～⑦までの過程を繰り返す。

7

8- 第2セットの2番目の跪拝が終了したら、「アッラーホ・アクバル（アッラーは偉大なり）」と言って座位姿勢に戻り、起立しない。そして座ったまま、以下に示す第1のタシャッフドを声に出さずに唱える。“アッタヒーヤート・リッラーヒ、ワッサラワート・ワッ

タイナビート。アッサラーム・アレイカ・アイユハイナビユ、ワ・ラフマトッラー・レヒカ・ワ・バラカートホ。アッサラーム・アレイナー・ワ・アラール・イバーディッラーヒッサーリヒーン。アシュハド・アッラー・イラーハ・イッラッラー、ワ・アシュユハド・アンナ・ムハンマダン・アブドホ・ワ・ラスールホ（全ての賞賛、崇拝行為、よき行いはアッラーにこそ向けられる。その使徒に平安とアッラーからの慈悲、祝福あれ。我々、そしてアッラーの正しいしもべたちに平安あれ。アッラーの他に崇拝すべきものはなく、ムハンマドはアッラーのしもべであり、使徒である。）”

9- もし礼拝が2セットであるのなら次の項⑩に進み、そこで示す第2のタシャッフドを行う。もし2セット以上の礼拝であるのなら、⑧の第1のタシャッフドを終えた後に再び立ち上がり、今までの行程を最初から繰り返す。

10- 第1のタシャッフドに引き続き、以下に示す第2のタシャッフドをやはり座位のまま声に出さずに唱える。“アッラーフンマ・サッリ・アラー・ムハンマディン、ワ・アラー・アーリ・ムハンマド

。カマー・サッライタ・アラー・イブラーヒーマ、ワ・アラー・アーリ・イブラーヒーマ、インナカ・ハミードン・マジード。アッラーフンマ・バーリク・アラー・ムハンマディン、ワ・アラー・アーリ・ムハンマド。カマー・バーラクタ・アラー・イブラーヒーマ、ワ・アラー・アーリ・イブラーヒーマ、インナカ・ハミードン・マジード。（アッラーよ、ムハンマドとその後継者たちを祝福したまえ。あなたがイブラーヒームとその後継者たちを祝福されたように。実にあなたこそ讃えられるべき、栄光高きお方です。アッラーよ、ムハンマドとその後継者たちに恩恵を与えたまえ。あなたがイブラーヒームとその後継者たちに恩恵を与えられたように。実にあなたこそ讃えられるべき、栄光高きお方です。）”

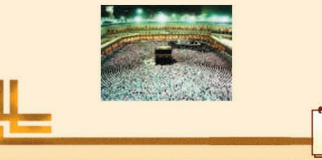
9

11- 第2のタシャッフドの後には以下に示すようなドーア（祈願の言葉）を唱えてるのが良い。“ラッパナー・アーティナー・フィッドゥニヤー・ハサナ、ワ・フィル・アーヒラティ・ハサナ、ワ・キナー・アザーフィンナル。（我らが主よ、現世において我々に良いものをお授け下さい。そして来世において良いものをお授け下さい。地獄の業火の懲罰から我々をお守り下さい。）”

12- その後右を振り向いてこう言う。“アッサラーム・アレイクム・ワ・ラフマトッラー（あなた方に平安ラーからの慈悲と祝福あれ）”それから左手を振り向いてこう同じように、“アッサラーム・アレイクム・ワ・ラフマトッラー”と言う。

5つの礼拝 そのセット数と時間割

礼拝(セット数)	時間割(時間は厳守しなければならない)
ファジュル(2)	暁から日の出直前まで( : - : )
ズフル(4)	太陽が正中線から傾き、物の影がその実際の長さと同じ長さになるまで( : - : )
アスル(4)	ズフルの終わりから太陽が黄色くなる頃まで。正当な理由があれば日没直前まで遅らせることも可能( : - : )
マグリブ(3)	日没直後から赤い残光が消えるまで( : - : )
イシャール(4)	マグリブ時間後から夜半まで( : - : )



3696000/ مطابع دارالهدى



ياباني

Japanese



هذا هو الإسلام

簡略

イスラームガイド

監修：イブラーヒーム・アルヤヒヤー

校正

サルマーン・アルアウダ博士・ナーセル・アルウマル博士

このパンフレットはいくつもの言語に翻訳されており、著作権はこのパンフレットをもってイスラームへの奉仕を望む全ての人に帰されます。

慈善配布をお望みの方は：00(966)505412038まで。

iy1001@hotmail.com  
www.islaminbrief.com

المكتب التعاوني للدعوة والإرشاد وتوعية الجاليات بحي البشير - بريدة

هاتف: 009663851005 - فاكس: 009663851004

رقم الحساب: 10060001006000 - فرع: 192

K.S.A. Foreigners Guidance Centre in Al-Besher  
Tel: 009666 3851005 - Fax: 009666 3851004

Account No: 192806010060000